

2017年度 協豊会東海地区活動

「東京オリ・パラ理解促進活動 講演会」を開催 ～『共生社会』実現への道～



講師 「高橋 秀文」氏 プロフィール
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会常務理事
日本パラリンピック委員会副委員長
東京ガス株式会社アドバイザー

1978年 東京ガス㈱入社
2009年 東京ガス㈱執行役員神奈川支店長
2012年 東京ガス㈱執行役員リビング本部
営業第1事業部長
2015年 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会常務理事
2017年 日本パラリンピック委員会副委員長

【講師 高橋 秀文 氏】

協豊会東海地区は2017年11月13日（月）、名古屋市のウェスティン・ナゴヤキャッスルにおいて、講師に公益財団法人日本障がい者スポーツ協会常務理事「高橋秀文」氏をお招きし、東海地区会員会社トップや担当役員など200名を超える方々のご参加のもと、東京オリンピック・パラリンピックへの理解促進を目的として、「『共生社会』実現への道」をテーマに講演会を開催しました。



【講演会 風景】

講演は、日本障がい者スポーツ協会やパラスポーツを取り巻く状況の紹介から始まり、ロンドン〜リオパラリンピックの概要やパラリンピックの歴史や魅力、競技の概要、代表的なパラアスリートなどをご説明頂いた後に、実例のご紹介を通して東京 2020 パラリンピックの成功に向けての様々な取組みを非常に分かり易くご説明いただきました。

『心のバリアフリー』への取組みのご紹介として、小学校でのパラアスリートを交えた体験会のエピソードの中で、小学生とパラアスリートの心温まる触れ合い等をお伺いし、会場は深い感動に包まれました。

閉会にあたり、「障がいのある人を障がい者にしてしまっているのは社会、我々の心や物理的な環境。障がいのある人もない人も、様々な人たちがそれぞれの個性を活かし、生き生きと生きていける『共生社会』を作っていきたい、パラリンピックをそのきっかけとしていただきたい。」と結ばれました。